



府中市立府中第六中学校

令和6年1月12日 第9号

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

三学期始業式式辞

校長 佐藤 光宏

明けましておめでとうございます。楽しく、元気で有意義な冬休みを過ごすことができたでしょうか。寒い日が続いていますが、三学期が始まり、元気な皆さんの姿を見てみると、しっかりと一年のまとめの学期を充実させようとしている気持ちが感じられて、とても嬉しく思います。

さて、一月一日には能登半島で地震があり、死者や安否不明者が現在でも五百人ほどいらっしゃいます。また、二万八千人が避難所に身を寄せて不安な日々を過ごしています。お亡くなりになられた方にお悔やみを申し上げるとともに、一日も早い復興を願っています。私たちも災害に対する備えを十分におこななければならないと改めて強く思いました。

話は変わりますが、私は、元日に近くの神社に初詣に行きました。そして、おみくじを引いてこのような歌を頂きました。

「おほぞらに そびえて見ゆる たかねにも のぼればのぼる 道はありけり」

この歌は、明治天皇がつくった歌だそうです。歌の意味は、大空に高くそびえる険しい峰々にも、登っていけば自然と登り得る道はあるものです。というものです。この歌が教えてくれたのは、「大切なのは、頂上を目指して一歩そして一歩と絶えず歩み続ける努力と勇気」ということです。私たちは、何かを目指して行動を始めても、それが大変なことや難しいことに出会うと、うまくいかないだろうと思って、「無理だな」「そんなことできないな」「厳しいよ」と口にして、あきらめてしまうことが多いのではないのでしょうか。しかし、「のぼればのぼる 道はありけり」です。さしたる努力もせず、初めから不可能だ、できないやといってあきらめるのではなく、一歩ずつ登れば道は必ずあるはずだと考えてみてください。私自身も、すぐに「難しいかな」「無理かな」と自分自身を甘やかし、挑戦を避けてしまう弱い気持ちがあることを、元日に神様から言われたように思いました。

新しい年になり、一年の目標を立てることと同様に、今日から始まる三学期の目当ても必ずもつようにしてください。私は、この歌の言葉「のぼればのぼる 道はありけり」を自分の今年の目標として、一歩、そしてまた一歩と歩を重ねて登り続ける努力を大切にしていこうと思います。

まだまだ寒い日が続きますが、体調に気を付けながら六中全員で三学期も頑張ってください。



生徒会リーダー研修会

12月2日に生徒会リーダー研修会が行われました。81回目となる今回は『市制70周年の機運醸成に向けた取り組みから 学校と地域が連携して「よりよい府中市」を目指す』をテーマに市内の各中学校生徒会役員と府中市役所の方との間で意見交流がなされました。学校と地域の連携について話し合う中で、他校の生徒会の取り組みを学ぶことができ、有意義な時間を送ることができました。

部活動等の実績



女子バスケットボール部

第9ブロック 中学校バスケットボール新人大会 女子の部 第3位



ハンドボール部

東京都中学校ハンドボール新人大会 男子の部 第3位

東京都中学校ハンドボール新人大会 女子の部 準優勝



野球部

第64回府中市民体育大会秋季大会 軟式野球競技 少年の部 優勝